

ASEAN交流で学んだこと

毎年、日本アセアンセンターのご協力で、ASEAN交流を行っています。
 今年は、1月19日(土)にベトナム、カンボジア、タイ、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、カンボジアから、各クラスに講師をお迎えし、自然、産業、食べ物、文字、住まいに加え、小学校の生活も紹介してもらいました。
 3年生は、カンボジアでした。子供たちは、自然や世界遺産の写真に、「きれい」と、感嘆の声をあげたり、カンボジアの挨拶や遊びに挑戦したりと、熱心に学んでいました。水上生活をしている村では、ボートで通学することを知り、文化の違いを感じていたようです。
 グローバルといわれ、地球規模で考えることが必要となってきた現代社会では、異文化を理解することも大切です。この交流が、世界の国々に目をむけ、日本のよさを見直すきっかけになってくれることを願っています。(3年担任 緒方 理子)



新年の始まりに

体育館で書き初めを行いました。4年生は、1月9日(水)に「元気な子」と「美しい山」のどちらかを選んで書きました。左はらい、右はらいなどの筆使いや、漢字とひらがなのバランスなど、気を付けることがたくさんあります。道具を準備しながら、「うまく書けるかな」「時間は足りるかな」と、少し不安げな子供たち…いよいよ筆に墨を含ませ、本番です。緊張した面持ちで、ゆっくりと筆を運びます。一文字ごとに息を吐きながら書く子供、納得がいけないのか首をかきながら作品を見直している子供…一人一人が自分の作品と向き合いながら、集中して書き上げました。

書き初め展では、雲龍紙に貼られた自分の作品を見て、誇らしげな様子の子供たちでした。

(4年担任 市川 倫子)



地域清掃

1月25日(金)に地域清掃を行いました。縦割り班に分かれて分担し、芝公園や御成門小学校の周辺を清掃しました。子供たち同士が声をかけ合って、落ち葉や空き缶、紙くすなどのゴミを集め、きれいにしていきました。班の6年生の話をよく聞いて、最後まで頑張って取り組むことができました。(特別活動部 田邊 あゆみ)



地域の方と昔遊び

—1年生—

1月29日(火)に地域の方をゲストティーチャーとしてお招きして、昔遊びを体験しました。ベーゴマが火花をとばして回る様子を見せていただいたり、新聞紙で兜を作り嬉しそうにかぶったりしていました。日本の遊び(お手玉、あやとり、こま、ベーゴマ、紙風船、折り紙、おはじき、かるた、めんこなど)を行い、遊びのこつを教えてくださいました。楽しく遊んだりしました。

子供たちもゲストティーチャーの方々も、笑顔があふれる昔遊びとなりました。(1年担任 望月 まり子 雨海 智裕)



いろいろな作法がありました!

—6年生—

新年を迎え、6年生は日本の伝統文化である「書き初め」、25日には「茶道」を体験しました。講師に地域の方とお仲間の皆様をお招きして、茶道の歴史や作法を教えてくださいました。

家庭科室にある和室には炉が切っており、子供たちは初めて見る茶釜に大興奮していました。和室に入るときも、畳を歩くときの作法「縁を踏まない。短い方は三歩で歩く」を唱えながらぎこちない歩きでした。お茶をいただくまで、なかなか大変でしたが、子供たちの感想には、「相手や次の人のことを思いやる心を大切にしている。」と書かれていました。

心を落ち着かせ、心地よい静寂の時を一人一人が楽しみました。

(6年担任

大阿久 孝子)



校内研究について

—教職員の取組—

今年度は、「主体的に考え、学び合い、深い学びを実現する授業づくり」を研究主題とし、子供たちが意欲的に学習に取り組み、友達や集団での話し合いを通して理解を深めていくには、どのように授業をしていけばよいのか、算数の教科を中心として授業研究をしています。

昨年度から授業研究を行ってきたことで、見開き1ページでその日に学習したことが一目で分かるようなノートづくりを行えるようになったり、算数の学習過程を毎時間、同じ流れにすることで、見通しをもって学ぶ姿が見られたりするようになりました。また、日常生活の中から問題を設定することで、問題を身近に感じ、意欲的に取り組む姿も見られました。高学年では、友達の考えを聞いて、自分の考えをさらに広げたり深めたりすることに楽しさを感じるという感想も上がるようになりました。

来年度は、11月1日(金)に、研究発表を行います。これからも、子供たちがいきいきと楽しく学び合う姿が見られるように、授業研究に励んでいきます。(研究推進部 町田 真由美)

